



しんしゅう

第243号



これは長野県PTA新聞の記念すべき第1号です
フォントや文体に時代を感じますね

全て実物では残っていませんが
複製したものやデータ化したものが
事務局で大切に保管されています

長野県PTA連合会が目指すもの

- ▶ 令和8年度の年度所信・重点活動
- ▶ 目指す姿を図解で紹介
- ▶ こんなことをしています！県Pの活動
- ▶ 活動実践事例 | 原村立原中学校PTA

～ しんしゅう休刊のお知らせ ～

令和8年度スローガン

「今を大切に、未来へつなぐ」

～ こどもまんなか 自分たちで考えるPTA ～

5月29日に定期総会が開催され、新年度の長野県PTA連合会がスタートしました。

年度所信と重点活動、新年度の会長と副会長の紹介をご覧ください。



令和8年度 長野県PTA連合会 会長

松田 愛絵

年度所信

PTAの存在意義が改めて問われ、時に厳しい目が向けられる今だからこそ、私は子どもたちのためにPTAとして何ができるのかを丁寧に考え、前に進めていきたいと強く感じています。形にとらわれるのではなく本来の目的に立ち返りながら、人と人をつなぐ「あたたかな懸け橋」としてのPTAの役割を大切にしています。

ここ数年で、PTA活動のあり方は大きく変わりました。活動を見直す機会も増え「やめる」「減らす」という選択が目されるようにもなりました。それ自体は決して悪いことはありません。しかし、その判断の先にいつも問いかけたいのです。

その活動は、子どもたちの笑顔が見えているだろうか。

大人の考えだけになってはいないだろうか。

PTA活動の目的は、形を守るのではなく「子どもたちのよりよい環境をつくること」です。本当に必要なことは何かを考え、残すものは大切に残し、変えるものは勇気をもって変えていく。そして、自分たちのPTAを自分たちで考え、自分ごととして向き合っていく。そんな前向きな見直しを進めていきたいと考えています。

また、PTAは「やらなければならないもの」ではなく、子どもにかかわることができる「かけがえのない機会」だと感じています。かかわりたいと思っても子どもはあっという間に成長し、数年後にはその機会は自然と薄れていってしまいます。今この時だからこそできるかかわりがあります。今しかできない、私たちにしかできないことがあります。

今年度は、教育行政や学校との連携をこれまで以上に大切にしていきたいと思います。教育にかかわる多くの皆様と丁寧につながりながら、保護者だけではできないことを、学校の先生方と同じ思いで進めていきたいと考えております。子どもたちの教育は、保護者と学校、そして地域が同じ方向を向いてこそ、よりよいものになると感じています。

その中で、これからのPTAのあり方として、コミュニティスクールとの連携もますます重要になってくるでしょう。地域と学校と保護者がゆるやかにつながり、子どもたちをまんなかにした関係づくりを進めていきたいと思います。

そして私は、PTAは保護者にとっての「居場所」でもあると感じています。子どものことで悩んだとき、誰かに話すだけで気持ちが軽くなったり、解決の糸口が見えたりすることがあります。学級懇談会や日々のつながりの中で不安が解消されていけば、保護者と先生方の関係もよりよいものとなり、結果として子どもたちにとって安心できる環境につながっていきます。

負担感ばかりが語られがちなPTAですが、そこには出会いがあり、学びがあり、気づきがあり、そして何より「ワクワク」があります。

今を大切に、子どもにかかわる時間を大切に。皆様とともに歩む一年にしていきたいと思います。

重点活動

1. 関わりやすく、関わりがいのある PTA組織づくり

「長野県PTA憲章」の周知と浸透を図りながら、学校・家庭・地域を結ぶPTA活動の意義を共有します。
理事会や地区協議会、PTA新役員研修会等を通して16都市PTAの課題や実践を共有し、持続可能で参加しやすい組織のあり方を研究・支援します。

2. 子どもの学びと育ちを支える教育環境づくり

都市PTAや単位PTAから教育現場の声を集め、長野県教育委員会等の教育行政や関係団体、企業と連携しながら、短期・中期・長期の視点をもった要望活動を進めます。また「教職員の働き方改革を本気で応援するPTA」として、先生方へ「ありがとう」を伝える具体的な取り組み「先生ありがとうメッセージコンクール」を継続します。先生方への感謝を“見える形”にすることは、先生方のモチベーションと安心感を支え、よりよい教育環境の実現につながります。小さな「ありがとう」が積み重なることで、学校・家庭・地域の信頼の土台はより強くなっていくものと考え、子どもたちの学びを支えていきます。



3. PTA活動の見える化と情報発信のあり方の検討

広報紙、ホームページ、SNS等を通して、各地の実践や教育情報をタイムリーに発信します。あわせて本年度は、PTA新聞の発行や広報のあり方について検討を進め、これからの時代に合った情報発信の形を研究します。

4. 安心して活動できる基盤づくりと連携の推進

保険共済制度の適切な運用により、PTA活動中の事故防止と万一の際の支援体制を整え、会員が安心して活動できる環境を下支えします。あわせて、PTA活動に参加しやすい環境づくりについて、関係機関や事業所等へ理解と協力を働きかけます。

正副会長の紹介



令和8年度はこのメンバーを中心に活動を進めていきます。

今年度も長野県PTA連合会をよろしくお願いいたします！

目指す



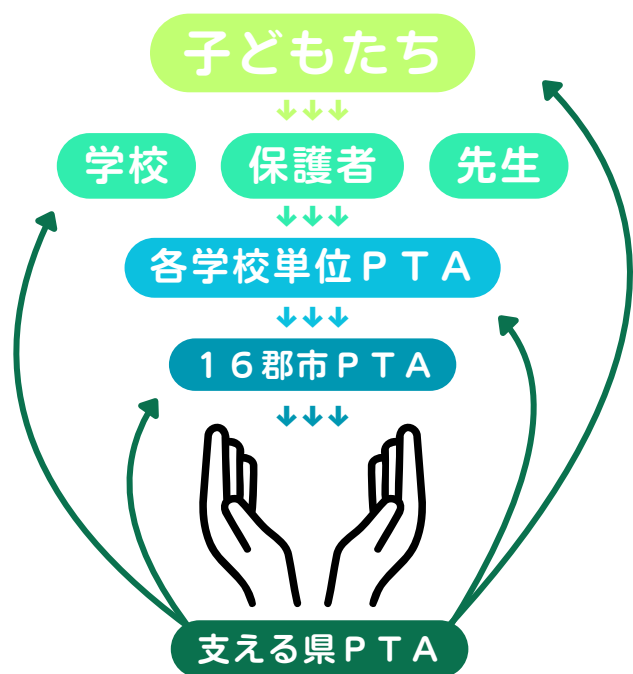
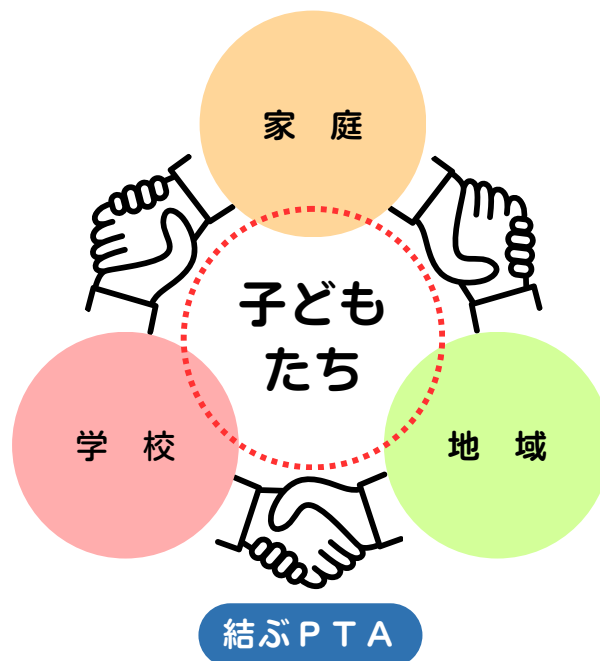
を図解で紹介

次々と出てくる悩みや困りごと。それらは子どもたちの成長とともに変化し、個人で解決するのは難しい事も多いですね。

つい置き去りにされてしまう問題を、取りこぼさずに解決に向けて働き続けることができるのがPTAです。

地区別の児童会や生徒会、子ども会や育成会、学級懇談会は、家庭・地域・学校を結ぶ入口です。偏りなく多くの声を聞き、必要な機関へとつなげていくためには、より多くの皆さんの参加が必要不可欠です。

生活スタイルや社会情勢が目まぐるしく変化していく今こそ、PTAも一緒に変わります。声をあげれば、その子どもたちにかえてくる。それを皆さんが実感できる組織を目指します。



PTAと聞くと、ピラミッド型の組織図を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか？しかし実際はそうではありません。PTAは子どもたちを支える存在で、長野県PTA連合会はその一番下で皆を支える「縁の下の力持ち」です。

子どもたちの声を真っ先に受け止めるのは保護者や学校の先生たちです。受け取った声を、ぜひ県PTAまでつなげてください。届いた声に全力で向き合い、子どもたちが笑顔になれるようサポートします。

県PTAは、皆さんがもっと安心して頼れる土台になれるよう、関係機関との連携を深め、学び支え合いながら、さらなる成長を目指します。

- 16郡市PTA⇒長野県内を16の地域でまとめたもの
- 県PTA⇒長野県PTA連合会の略



2024年度から引受保険会社がAIG損害保険に変わりました

信州子育て応援総合補償制度
～大切なお子様のための補償制度～

長野県PTA連合会安全互助制度
～PTA活動を安心して行うために～



長野県PTA連合会

AIG損害保険株式会社 松本支店
〒390-0814 松本市本庄1-3-10 大同生命松本ビル
Tel: 0263-35-1933
受付時間: 午前9時から午後5時まで(土・日・祝日・年末年始を除く)
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

AIG AIG損保

こんなことをしています！



の活動

県PTAは、各地域の代表の保護者と先生たち、事務局の皆さんの総勢50人を超える役員を中心に活動しています。内容はさまざまですが、そのまんなかにはいつも子どもたちがいます。ここでは特に力を入れている3点についてご紹介します。

1 子どもを育む大人同士が学ぶ研修活動

子どもたちの成長とともに、大人たちにもアップデートが求められています。研究委嘱や研修会、懇談会などで情報の収集・共有・提供をしています。また、より広く気軽に参加できるようにICTの活用を推進しています。

2 会員の安全を守り補償する保険事業

県PTAでは、学校単位で加入する【安全互助制度】と個人で任意加入する【信州子育て応援総合補償制度】の2種類の保険事業を行っています。時代の変化に合わせて補償内容を見直し、さまざまなトラブルに対応しています。

3 教育行政との連携

関係機関との連携、特に長野県教育委員会との懇談会は保護者の声を直接届けられる貴重な時間になっています。

県PTAでは長年クラスの少人数制についての提言を行ってきましたが、今年度、小学校1年生に『25人規模学級』が導入されました。

この先さらに重要になってくるコミュニティスクール※との連携は、子どもたちが笑顔で学び育つ環境作りに欠かせない活動です。

※コミュニティスクールとは？



活動実践事例 | 原村立



中学校PTA

日本列島のほぼ中央に位置する原村。小学校と中学校が1校ずつという特性を活かし、単位PTAのほかに両校で構成する「原村PTA連合会」としての活動も行っています。Canvaを活用した広報と「学校が対話と協働の場であるために」奮闘したPTA活動の一例をご紹介します。

PTA CAFE



先生と保護者という肩書を外し個人同士のコミュニケーションが取れるよう企画しました

PTAコーラス



コロナ前に行われていた教職員コーラスに、R7年度から保護者も参加しています

PTA駅伝部



原村PTA駅伝部では「村内巡り駅伝」に出場し、校長先生がアンカーを務めました

コミュニティスクール懇談会



原村教育委員会と、保護者・地域を結ぶため講演会と座談会を開催しました

「食」で学び舎を支える。



子どもたちのために

公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5
TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535

よい食材でたのしい給食

長野県学校給食会は学校教育活動の一貫として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、学校給食における食育の推進を支援することにより、児童生徒の心身の健全な発達及び広く県民の健全な食生活の実現に寄与することを目的としております。

学校給食物資は、主食と副食がありますが、本会では、主食の原料となるコメや小麦粉を仕入れ、炊飯やパンの加工工場に製造を委託し、県下の各学校へお届けしています。副食については、缶詰、乾燥、ハム、冷凍食品などの物資を供給しています。また、食育支援事業として、県産物を活用した献立コンクール、レシピ集の発行、パン審査・品質向上研修会などを実施しています。これまでに、関係機関と共同で、県産物を活用した商品も開発・供給しています。



しんしゅう

休刊のお知らせ



第100号
よりよいPTAの姿を求めて



第222号
家庭学習を考える



リニューアルした第240号

第28号
漫画本について

長野県PTA新聞は1949年（昭和24年）3月25日に「長野県連（県連）PTA会（会）報」として第1号が発行されました。それから77年間、少しずつ形を変えながらさまざまな内容を皆様にお伝えしてきました。

今年度、長野県PTA連合会では重点活動として「PTA活動の見える化と情報発信のあり方の検討」を進めます。

少子化によるPTA会員の減少やそれに伴う予算の縮小、紙の値段・印刷費・輸送費の急激な高騰など新聞の発行を難しくする要因が多々ある中で、情報発信部の存在意義や新聞を発行し続けることの意味を見つめ直したとき、答えはすぐには出ませんでした。

- ・子どもが学校から持ってくるのがいい
- ・印刷物だと時間ができた時に少しずつ読めるのがいい

という「紙」の良さがある一方で

- ・気になる記事を簡単に保存できる
- ・最新の情報をすぐに発信できる

といった「データ配信」の利点も多くあります。

長野県PTA新聞をこの第243号をもってひとまず休刊とし、長野県PTA連合会の活動や情報を皆様に発信し続けるための、よりよい手段を探る時間とさせていただきます。

今までご愛読いただいた皆様に心より感謝申し上げます。県PTAの活動は「県P通信」やホームページで発信していきます。

これからも長野県PTA連合会をよろしく願いいたします。

県PTAホームページを
ぜひご覧ください！



年表

長野県PTA新聞と世の中の出来事

第2次世界大戦 終結	1945 S20
長野県PTA連合会 発足	1948 S23
長野県連PTA会報 第1号発行 3,000部を単位PTA に配布	1949 S24
学童に完全給食を 開始	1954 S29
NHK善光寺平テレビ 中継局で放送開始	1957 S32
会報第50号発行	1959 S34
公募により長野県 PTA連合会バッヂ 決定	1962 S37
信濃美術館（現： 長野県立美術館） 開館	1966 S41
6名の委員による 編集委員会を構成	1972 S47
第99号より「長野県 PTA新聞」に名称を 改める	
県P新聞第108号より 全戸配布	1975 S50
昭和から平成に	1989 S64/H1
冬季オリンピック 長野大会・長野パラ リンピック開催	1998 H10
長野県PTA連合会 結成50周年	
公立の小・中・高で 学校週5日制開始	2002 H14
県P新聞第200号 記念特集号発行	2007 H19
平成から令和に	2019 H31/R1
県P新聞第240号より 情報誌「しんしゅう」 としてリニューアル	2023 R5

編集後記



○ 本号は県PTAの歩みと現在地を確認し、未来へつなげることを目指して編集しました。会長所信や原中学校PTAの実践など貴重な原稿をお寄せいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

○ 子どもをまんやかに家庭と学校と地域が手を結ぶ姿は、私たちの理想です。休刊をさらなる「見える化」への前向きな節目とし、この懸け橋を次代へつなぎます。

○ 77年の間、さまざまな形でかかわってくださったすべての皆様、本当にありがとうございました。

情報
発信部

◎齊藤 正一（小布施中長）
○中村 深志（大豆島小頭）
大日方 光子 山岸 優子
中島 真紀子 樋川 善史
松澤 雅子

発行

長野県PTA連合会
長野市旭町1098 信濃教育会館内
TEL 026-235-4361
発行者／松田 愛絵 編集者／齊藤 正一
発行／令和8年7月